

授業実践のまとめ

東吾妻町立原町小学校 矢嶋 将之
安中市立碓東小学校 米澤由美子
下仁田町立下仁田中学校 今井 浩司
沼田市立沼田中学校 林 武史

※授業実践の視点※

視点1 心情の深まり

価値の自覚を促すために資料の中の道徳的価値を抽出し、児童生徒自身の中で目的化する。

視点2 指導方法の工夫

そのために、地域人材を発掘し、効果的な授業構成になるように打ち合わせ等を行い、質問等が中心の授業になるように指導方法の工夫を行う。

「地域を支える心」 原町小学校 5年

・児童にとってとても身近で、登下校時に世話になる安全ボランティアの方を講師としたことが効果的であった。事前に児童からの質問事項を把握していたので、教師、講師共にスムーズに授業を進めることができた。児童の質問で授業が構成できるように工夫したため、児童が主体的に授業づくりに参加した。

・前時までの「郷土愛」の実践が効果的に本時に繋がっているので、ワークシートには、ほとんどの児童が講師の願いをふまえ、自分が取り組めることを具体的に記述できていた。



「ありがとうの気持ちを込めて」 碓東小学校 3年

・児童の身近な碓東流水池を題材にし、流水池を造るのに深く関わった地域講師を招聘して、児童の質問に答えてもらいながらねらいにせまる授業だった。児童に考えさせたいことを事前に講師と打ち合わせたため、講師と担任で効果的に指導できた。

・事前のアンケートをもとに講師に児童が質問していく過程で、意図的に質問内容同士を担当が繋げることにより、児童の思考が次第に深まっていくように授業の流れを計画した。最後の流水池ソングの合唱も自分を見つめることに効果的であった。



「私の四面鏡」 下仁田中学校 1年

・構成的グループエンカウンターの手法を取り入れ、生徒同士の話し合いから自分自身を再発見させる授業構成に工夫があった。事前調査をもとに気になる生徒への積極的な机間支援がなされ、効果的であった。

・和やかな雰囲気の中で小グループによる意見交換が行われたので、自分に自信がもてなかった生徒も、友達からの褒め言葉を頼りに自身の長所を探すことができた。また、自分を深く見つめ、自分の能力をどう生かすことができるか具体的に考える姿が見られた。



「みんなの宝物」 沼田中学校 1年

・様々な小さな工夫がたくさんあった。講師との打ち合わせが十分になされており、発問も計画的に深まるように構成されていたので、講師が安心して語ることができた。明日からのことを考えるのではなく、2・3ヶ月後のことを考えさせ、その記述を元に、次時の学活に繋げていける展開も工夫されている。

・工夫された授業展開の中で生徒が講師の話を中心して聞き、深く考えていた。普段あまり考えたこともなかった自分の学校について、色々な発見があり、愛着を持ち、自身についても深く考えた1時間であった。

